

芝パークホテル「職人ものがたり展 vol.17 “慶”」開催

～新年を彩る伝統工芸「押絵羽子板」と「からかみ」の競演～

芝パークホテル（運営：株式会社芝パークホテル／東京都港区、代表取締役社長 柳瀬連太郎）では、2025 年 12 月 1 日（月）から 2026 年 3 月 8 日（日）まで、四季折々の日本文化を紹介する「職人ものがたり展」を開催しています。第 17 回となる今回のテーマは“慶”。新しい年の始まりにふさわしい華やぎを添える、二つの伝統工芸をご紹介します。



新年を祝う華やぎ - 押絵羽子板とからかみの美

職人ものがたり Vol.17 ではテーマを“慶”とし、歳の瀬の羽子板市でお馴染みの“押絵羽子板”と、お祝いに相応しい煌びやかな“からかみ”の、二つの工芸をご紹介します。

邪気を祓う正月の贈り物や、女の子の誕生のお祝いの品として今に伝わる「羽子板」。一方の「押絵」は、綿を布でくするみ立体的な絵柄を描き出す装飾技法。この 2 つが一緒になり、江戸・文化文政期に誕生したのが「押絵羽子板」です。中でも縁起の良い羽子板に、歌舞伎役者を押絵にしてあわせた「役者羽子板」は、当時の江戸っ子たちに大人気となり爆発的に売れました。



職人の技が紡ぐ、慶びのかたち

からかみは、中国の唐から伝わった加飾紙。木版手摺りや金銀の砂子を蒔いた唐紙は、中世以降は襖や屏風にも貼られ、煌びやかに空間を彩ってきました。京都で始まった唐紙の制作は、江戸にわたり江戸好みに発展していきます。大きく三つの技法があり、木版摺りは「唐紙師」、伊勢型紙を用いる「更紗師」、金銀の箔や砂子を用いる「砂子師」がそれぞれの加飾を施します。



新年にふさわしい縁起物と煌びやかな唐紙が彩る空間。

今回の展示では、現代に技を伝える職人による作品を間近にご覧いただけるだけでなく、購入も可能です。押絵羽子板は二代目西山鴻月氏、唐紙は唐源三代目小泉幸雄氏、株式会社 RISE、菊池襖紙工場が手掛ける逸品です。歴史と文化が紡ぐ美を、ぜひ芝パークホテルでお楽しみください。

■ 開催概要

期間： 2025 年 12 月 1 日（月）～2026 年 3 月 8 日（日）
時間： 11:00～20:00（最終日は 16:00 まで）
場所： 芝パークホテル 1 階 ライブラリーラウンジ、2 階 ホワイエ
入場料： 無料

■ 作家プロフィール

羽子板職人

西山鴻月(にしやまこうげつ)

1962 年、初代・西山鴻月の長男として生まれる。高校卒業後、押絵師・桜井秋山氏に入門。その後、父・西山鴻月に師事。2014 年 11 月「鴻月」を二代目として継承、現在に至る。

<https://kougetsu.exblog.jp/>

唐源三代目・小泉幸雄

江戸・嘉永年間創業の唐紙師・唐源の三代目。江戸の名工と謳われた初代・小泉七五郎から数えると五代目となる。20 歳の頃から父親に師事し家業に従事。現在は二人の子息、雅行氏と哲推氏が後を追う。

<http://karakaminokaragen.com>

株式会社 RISE

日本が誇る伝統工芸の技を活かした、アートパネル・オブジェ・照明器具などの企画・制作・販売を行う。

<https://k-mizukami.com/>

菊池襖紙工場

1924 年創業の襖紙製造工場。からかみの伝統技法では砂子の技術を伝承してきた。2015 年には日本古来の装飾技法を継承していくために、伝統工芸の専門チームとして伝統工芸室を設立。主にオーダーメイドの襖絵制作や神社仏閣・旧邸宅の和紙装飾の復元などの活動も行っている。

<https://fusuma.co.jp/ippinshu/index.html>

職人ものがたり展とは？

今なお、江戸の風が吹いているような東京は芝の地。この地の伝統と文化に息をあわせるようにして時を紡いできた古き良きホテル。芝パークホテルは多種多様な書籍コレクションを備えたライブラリーホテルとしての顔を持ち、職人が紡いできた伝統（ものがたり）を季節ごとにテーマを設けて、書籍とともに日本文化を軸とした「職人ものがたり」展を開催しております。「時代を超えて歴史や文化が紡がれてゆき、より良い豊かな明日へとつながる」そんな持続可能な体験をして頂けるような四季折々のおもてなしをお客様を心からお迎えいたします。

キュレーション：ニッポンのワザドットコム <https://nipponnowaza.com/>

(運営：有限会社ブレインカフェ <https://www.braincafe.net/>)



芝パークホテル外観

芝パークホテルについて

<https://www.shibaparkhotel.com/>

1948 年創業の芝パークホテルは、外国貿易使節団向けのホテルとして始まった歴史と伝統を持つホテルです。館内には銀座蔦屋書店がセレクトした約 1,500 冊の書籍があります。客室は 198 室、1 階に中華、洋食、和食の 3 種類のお料理を楽しめるレストラン、2 階に宴会場 4 室を備えています。2020 年から 2023 年にかけて客室やパブリックスペースをリニューアルしました。呈茶や金継ぎ体験などの文化体験イベントも開催しています。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

芝パークホテル / パークホテル東京 ブランド推進戦略課 担当:喜多尾、松尾

pr@shibaparkhotel.com

TEL : 03-3433-4141 (代) FAX : 03-5470-7515